

カナイワ プライド ほこ きずな えがお
令和7年度・『Kanaiwa Pride～誇り・絆・笑顔～』金石中学校

令和7年12月1日(月)

12月 全校集会

～ 岡田幸子校長先生のお話より ～

今月、12月4日から10日まで「人権週間」があります。
今日は、それを意識してお話をしようと思います。

『顔を見てコミュニケーション』をとろう！

みなさん、『マイナス言葉』というのを聞いたことがあると思います。
『マイナス言葉』は、「嫌な言葉」「人にダメージを与える」言葉です。
それが、『プラス言葉』よりも何十倍も力が強い、と言われています。残念ながら……。
これは、子どもだけでなく大人も同じです。

突然ですが、やってほしいことがあります。お隣さん同士で、互いの良いところを順番に言い合ってください。
(スタート……止め～、前に向いてください。)
ステキな言葉が聞こえてきました。「明るい」って聞こえました。「やさしい」って聞こえました。
「頭いい」ってのも聞こえました。そう言っているみなさんは、本当にステキです。
で……。今、言葉交換したときに、うれしかったよね。嫌じゃないよね。
私もそうなんですけれども、今、みなさん、嫌な気持ちじゃなかったよね。
でもそれが、『マイナス言葉』……『悪口』『言われたくないイメージ言葉』とか、だと……。
最悪なことは、『ネット上に』載せる、これが最悪です。……本当に嫌なことです。

何を言いたいかというと、

『顔を見てのコミュニケーション』を大事にしていてほしい、ということです。
顔を見ているから悪いことを言ってもいい、ということ言っているのではありません。

『顔を見て コミュニケーション』をとっていくと、
誤解していることがあっても「あっ、そうやったんや～、違うふうに私ととったー。」とか、
顔を見て「ごめんなさい」が言えます。
顔を見ると「本当に悪いと思ってくれてるんやー」などと伝わってきて「私こそ、ごめん」って言えます。
もう一つ大事なことがあって、
「それ、嫌」ってはっきり言えることです。^{あいまい}曖昧な嫌な気持ちじゃなくて、「それ、私は本当に嫌」と伝えることができます。
『顔を見てのコミュニケーション』だから、成り立つことです。

人間関係のトラブルを『乗り越えていく力』をつけてほしい。

中学校の3年間、思春期の真^{ただなか}っ只中で、
今までもいろんな人間関係のトラブルがありましたね。でも、それが当たり前なんです。
そして、それを乗り越える貴重な経験ができるのも『今』なんです。
絶対に『嫌なこと』は、これから、大人になってもあります。避けて通れないものです。
みんな考え方が違うから、いろいろだから……。違っててもいいんですよ。
だから、そういうトラブルも『乗り越えていく力』をつけてほしいなと思います。
そのためには、やはり、『顔を見てのコミュニケーション』をぜひ、心がけてほしいと思います。

自分のまわりで、^{つら}辛い思いをしている人はいませんか。自分の学級に『正義』はありますか。
ぜひ、『顔を見てのコミュニケーション』の“よさ”を知ってほしいと思います。



一年で最も昼の時間が短い日

